

美濃山遺跡 (八幡市)

美濃山遺跡は、京都府と大阪府の境にある低い丘陵上に立地する集落跡です。発掘調査の結果、弥生時代をはじめ、古墳時代や奈良時代の集落跡であることがわかりました。当時の住居の跡が所狭しと見つかりました。

写真は弥生時代の竪穴建物です。建物を囲む四角い溝と、その四角い溝から細く蛇行する溝がのびています。この溝は建物内に流れ込んだ水を排水するために掘られたと考えられます。このような排水溝をもつ竪穴建物は、枚方市や寝屋川市などの大阪府北部地域でも確認されています。大阪府がわと京都府がわで、頻繁に人々の交流があったことを示しています。



四角い竪穴建物と長くのびる排水溝 (建物の規模 1 辺約 5.5m)

遺物が語る京都の歴史

京都府暫定登録文化財 華南三彩盤 (京都市上京区)

中国南部で明代末期(16世紀末頃)に焼かれた焼物です。口縁を輪花に形取り、緑・黄・茶色の鉛釉をかけ、内面中央を花樹文で飾っています。南蛮貿易でもたらされ、京や大坂などの都市遺跡から多く出土する傾向があります。



(面径 30cm)

発掘調査

よもやまばなし

ベルトコンベヤーが大活躍!

発掘調査をスムーズに進めるうえで、溝や大きな穴を掘って出た土を速やかに、そして、コンパクトに集積できる機械こそが、ベルトコンベヤーです。どこに配置し、集積するかは設計は、調査担当者の腕の見せ所です。



【発行日】平成31年3月

【編集・発行】

公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター  
〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内 40 番の 3  
<http://www.kyotofu-maibun.or.jp>



もっと知りたい

公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター

京都の遺跡 第4号

喜

奇

楽

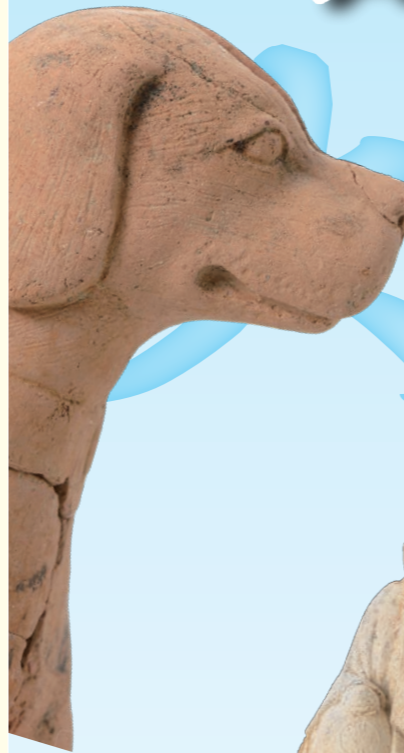
洛

京

フイ

ギョ

ア



神

## 全国的、犬ブーム？

安土桃山時代から江戸時代の初めにかけて、犬形の土製品が出土します。土人形が流行する何十年も前のことです。戦乱の世から平和な世へ大きく変わる中で、人々は癒しを求めて犬の土製品をかわいがったのかもしれません。

そのかわいらしさは、今も不意に出土しては発掘調査員たちの心を癒してくれます。



犬形土製品  
(京都市寺町旧域)



## 今も昔もおままごと

発掘調査では、土人形以外におままごとやひなまつりに使われたと思われるミニチュアの土製品が出土します。

中央の黒いミニチュアは、上に釜（煮たきの器具）を載せたかまど竈、左端のオレンジの器はすり鉢、白色の飯椀のミニチュアは模様まで再現しています。その右の小さなつぼは「つぼつぼ」と呼ばれています。そして右端のとがっている遺物は土製の鈴で、魔除けに使われました。



古墓副葬品  
(京都市寺町旧域)

西洋犬  
(八幡市  
木津川河床遺跡)



狎  
(京都市  
平安京左京  
一条二坊十四町)

# 思いをかたちにする時代

戦国時代が終わって数十年経つと世の中はすっかり変わり、太平の世と呼ばれる時代が訪れました。平和な世の中で人々は多くの文化を生み出し発展させていきました。その一つが土人形です。今回は少し視点を変えて、今の日本文化につながる土人形から当時の人々の思いに迫ってみたいと思います。

## 伊勢屋いなりに犬のくそ

江戸の町中に多くあるものとしてあげられた「伊勢屋」という店の名前、町内で飼われた「犬」、そして商売の神様として信仰された「お稲荷さん」。

写真はお稲荷さんの使いであるキツネの人形です。広く信仰されたというだけあって京都府の各地で出土が確認されています。商売繁盛を祈り、伏見の稲荷大社で買って帰ったのでしょうか。



稲荷狐  
(左2点：八幡市木津川河床遺跡)  
(右1点：京都市寺町旧域)



古墓副葬品  
(京都市寺町旧域)

## モードへのあこがれ

写真中央の西洋犬と、両端の小型犬の狎きんは明治時代と江戸時代には高級犬で、文化人に愛され大流行しました。本物は高価で手が届かないものでも、土人形ならお手頃だったのでしょ。

京都府内のみならず全国で出土し、コピー商品も作られていました。流行に敏感な人々の姿がみえてきます。

## 土人形に思いを

お墓の発掘調査では、死者とともにおさめられた遺物が出土します。写真の土人形はそうした副葬品です。前列左から、相撲をとる猿、多くの喜びやき「八喜」と「焼き」をかけた「八喜鯛」、長寿の親子亀、和歌の神様となった柿本人麻呂です。人麻呂の後ろには鯛を脇に抱える七福神の恵比寿がいます。中央の赤い衣をまとった人物は文殊菩薩もんじゅぼさつです。知恵の象徴として知られています。

こうしてみると、様々な意味をもつ土人形が副葬品になっていたことがわかります。



狎  
(右：個人蔵)  
(左：京都市平安京左京一条二坊十四町)

## 失われた色彩

出土した狎きんと、彩色された今の狎をならべてみました。色が無くても十分にかわいらしい姿をしています。発掘調査で出土する土人形も、もともとは岩絵具などで色が塗られていました。

土人形  
ミニチュア  
土器

近世	近代
	江戸時代
	安土桃山時代
中世	戦国時代
	室町時代
	南北朝時代
古代	鎌倉時代
	平安時代
	奈良時代
古墳時代	飛鳥時代
	後期
	中期
弥生時代	前期
	後期
	中期
縄文時代	前期
	後期
	中期
旧石器時代	草創期